

# 日本機能水学会第16回学術大会案内

大会長：花田信弘先生（鶴見大学歯学部探索歯学講座 教授）

テーマ：機能水、新時代へ！

会期：2017年11月18日（土）～19日（日）

会場：鶴見大学記念館（横浜市鶴見区2-1-3）

主催／共催：日本機能水学会／日本口腔機能水学会・ウォーター研究会

## <大会長あいさつ>

本年度の日本機能水学会学術大会を、西洋歯科医学発祥の地である横浜（鶴見大学）で開催する運びとなりました。今年、酸性電解水がこの世に産声を上げてから30年、食品添加物（殺菌料）として認可されて15年という節目の年に当たります。また、日本機能水学会が誕生して15年になりますが、その第1回学術大会は日本口腔機能水学会の会長であった芝燐彦先生が務められました。以来、15年振りに口腔機能水学会と研究室のスタッフの理解と支援のもと大会長をお引き受けすることになった次第です。私の専門は歯学で、機能水に関しては主に日本口腔機能水学会において活動していますが、巡り合わせに縁を感じています。

これまでの学術大会では、酸性電解水の他、飲用アルカリ性電解水（アルカリイオン水）、水素水、オゾン水、ファインバブル水、強アルカリ性電解水などに関する研究成果の発表が行われてきました。また、CKJフォーラムなど海外研究者の研究成果の発表・議論も行われてきました。それらの内容は学術大会を重ねるごとに充実してきており、新しいテーマの研究が展開されてきています。このようなことから、機能水研究が学術的にも技術的にも進歩していることを会員の皆様は感じていることと思います。そこで、今大会（第16回）のテーマとして、「機能水、新時代へ」を掲げるとともに酸性電解水の誕生30年を記念するセッションを企画するなど、従来に増して充実した学術大会にすべく努力してまいります。

一方、今大会は日本機能水学会としては初めて大学の施設を利用して開催されるという側面もあります。鶴見大学は有名な大本山総持寺という曹洞宗の寺院の境内（鶴見が丘）に位置します。広大な境内の中には有名な建物が立ち並び、国際的な禅の根本道場としても有名です。参加される方々は、時間を見つけて総持寺の境内をエンジョイされることもお勧めしたいと思います。

例年にも増して多くの方が足をとお運び下さるようお待ち申し上げます。

会場：鶴見大学記念館（横浜市鶴見区鶴見2-1-3）

JR京浜東北線：鶴見駅より徒歩5分

京急線：京急鶴見駅より徒歩7分

参加費：会員 8,000円（事前 6,000円）、

非会員 12,000円（事前 10,000円）、

学生 3,000円（事前 2,000円）

\* 事前締切は10月31日（火）、参加費の入金をもって事前受付完了とします（参加証は当日お渡しします）。

技術交流会（11月18日（土）18:00～）

参加費 7,000円（事前 5,000円）、鶴見大学内食堂

参加費等振込先：ゆうちょ銀行 00160-5-68045

または 三井住友銀行 目黒支店 普通 1225185

口座名はいずれも「日本機能水学会学術大会」 \* 参加者名を明記のうえお振込みください。

講演申込み：8月31日（木）までに、下記 本部事務局宛てにお申込みください。

事務局：日本機能水学会事務局 担当：都筑洋子、中藤誉子、福島宏和、堀田国元

TEL 03-3495-0251 kinousui-gakkai@fwf.or.jp

<http://www.fwf.or.jp>

鶴見事務局 花田研究室 担当：野村義明先生、岡田彩子先生

TEL 045-580-8461

\* 更新情報：日本機能水学会ホームページ(<http://www.fwf.or.jp/gakkai.html>)に掲載します。



## 一般講演の募集

各種機能水の基礎と応用に関する一般講演を募集いたします。下記要領に従って講演要旨を作成し、**2017年8月31日(木)まで**にお申込みください。会員の皆さま奮っての応募をお待ちします。

### <講演要旨作成および申込みの要領>

#### 1. 講演要旨作成要領

- ・ 下記例を参考に、A4 用紙 2 枚以内に Word で作成してください。
  - ・ **英文の演題と発表者・所属・要旨をお付けください。**
  - ・ 1ページ当たり、1行 48 文字×45 行を基本とします。
  - ・ マージンは上端 25mm、下端 30mm、左右端 20mm、文字サイズは 10 ポイントを予定しています。
  - ・ 図表は、本文中に適当に貼り付けてください。
- \* 最終的には、大会事務局サイドで書式の統一をいたします。

#### \* 採否について

プログラム委員会で審議決定いたします。製品等の宣伝色の強い内容の場合や、記述に疑問点のある場合は、変更を要請することになりますことをお含みください。

#### 講演要旨作成例

強アルカリ性電解水の殺菌効果について

○水野花子、機能太郎、電解次郎

(一財)機能水研究センター

[目的]

[方法] **使用した機器の規格、電解水などの機能水の物性は必ず入れるようにしてください。**

[結果] 図表は英文で作成してください。

[考察]

\* 特別講演、教育講演については、この順序に拘らなくても結構です。

[英文タイトル・発表者名・要旨]

Anti-microbial effect of strong alkaline electrolyzed water

○H. Mizuno, T. Kinoh and J. Denkai

(Kinousui Research Center)

Abstract

**海外からの参加者にも発表内容がわかるように、英文の要旨をつけてください。**

#### 2. 講演要旨申し込み

申し込み者の氏名、所属、電話、FAX、E-mail アドレスを明記の上、講演要旨のファイルを添付してメールにて下記宛てにお送りください。

日本機能水学会第 16 回学術大会事務局（機能水研究振興財団内）

E-mail: kinousui-gakkai@fwf.or.jp

電話: 03-3495-0251、FAX: 03-5435-8522

\* ご不明の点などにつきましては、担当(都筑洋子、中藤誉子、堀田国元)にお問い合わせください。